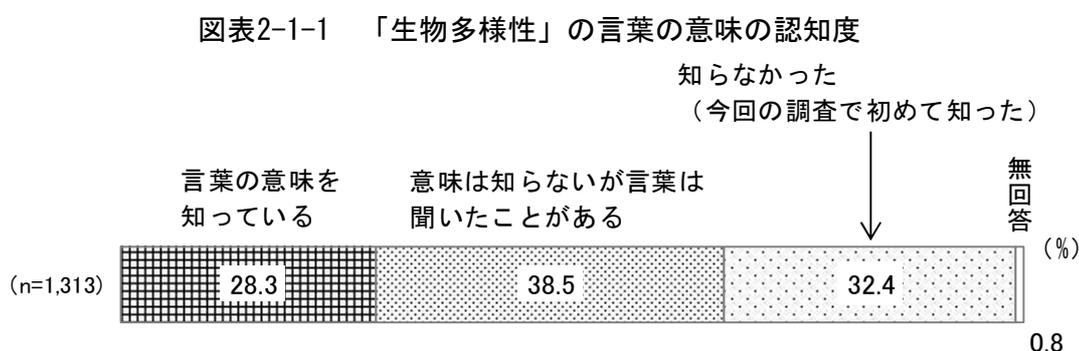


第2章 生物多様性【問6～問9】

1 「生物多様性」の言葉の意味の認知度【問6】

【全体の状況】

「生物多様性」の言葉の意味を知っていたか尋ねたところ、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」(38.5%)が約4割で最も多く、次いで「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」(32.4%)が3割台であった。(図表2-1-1)



【地域別の状況】

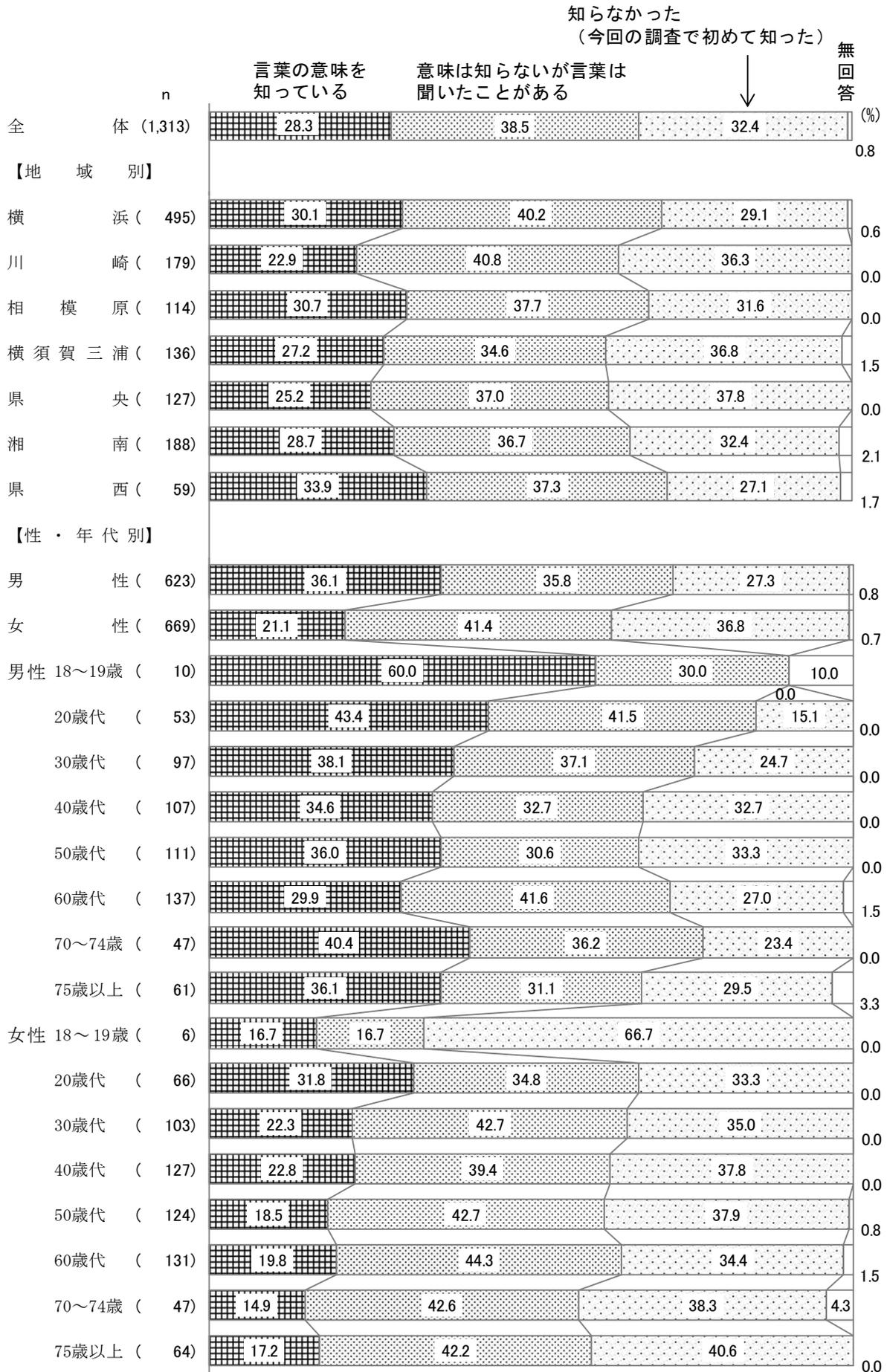
地域別にみると、「言葉の意味を知っている」は、県西(33.9%)、相模原(30.7%)、横浜(30.1%)がそれぞれ3割を超えた。また、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」は、川崎(40.8%)と横浜(40.2%)がともに4割を超えた。(図表2-1-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「言葉の意味を知っている」は、男性(36.1%)が女性(21.1%)を15.0ポイント上回った。

性・年代別にみると、「言葉の意味を知っている」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、男性の20歳代(43.4%)・70～74歳(40.4%)がともに4割を超えた。「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」は、女性の30歳代(42.7%)・50歳代～75歳以上(42.2%～44.3%)がそれぞれ4割台であった。(図表2-1-2)

図表2-1-2 「生物多様性」の言葉の意味の認知度—地域別、性・年代別



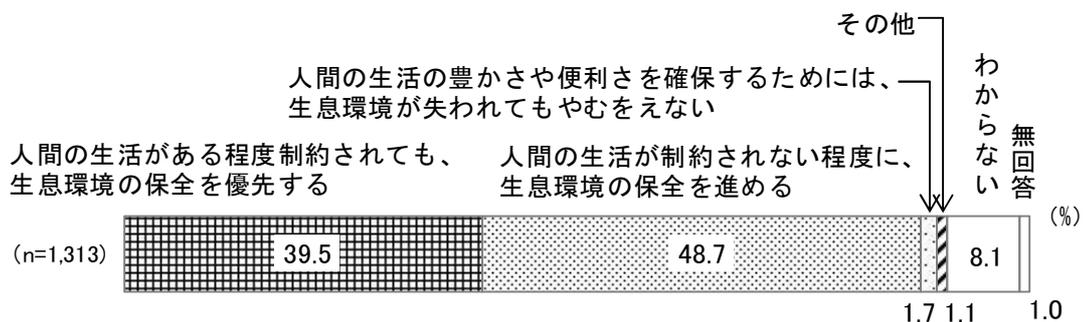
2 多種多様な生物が生息できる環境の保全への意識【問7】

【全体の状況】

多種多様な生物が生息できる環境の保全について、どのように考えるか尋ねたところ、「人間の生活が制約されない程度に、生息環境の保全を進める」(48.7%)が約5割で最も多く、次いで「人間の生活がある程度制約されても、生息環境の保全を優先する」(39.5%)が4割であった。

(図表2-2-1)

図表2-2-1 多種多様な生物が生息できる環境の保全への意識



【地域別の状況】

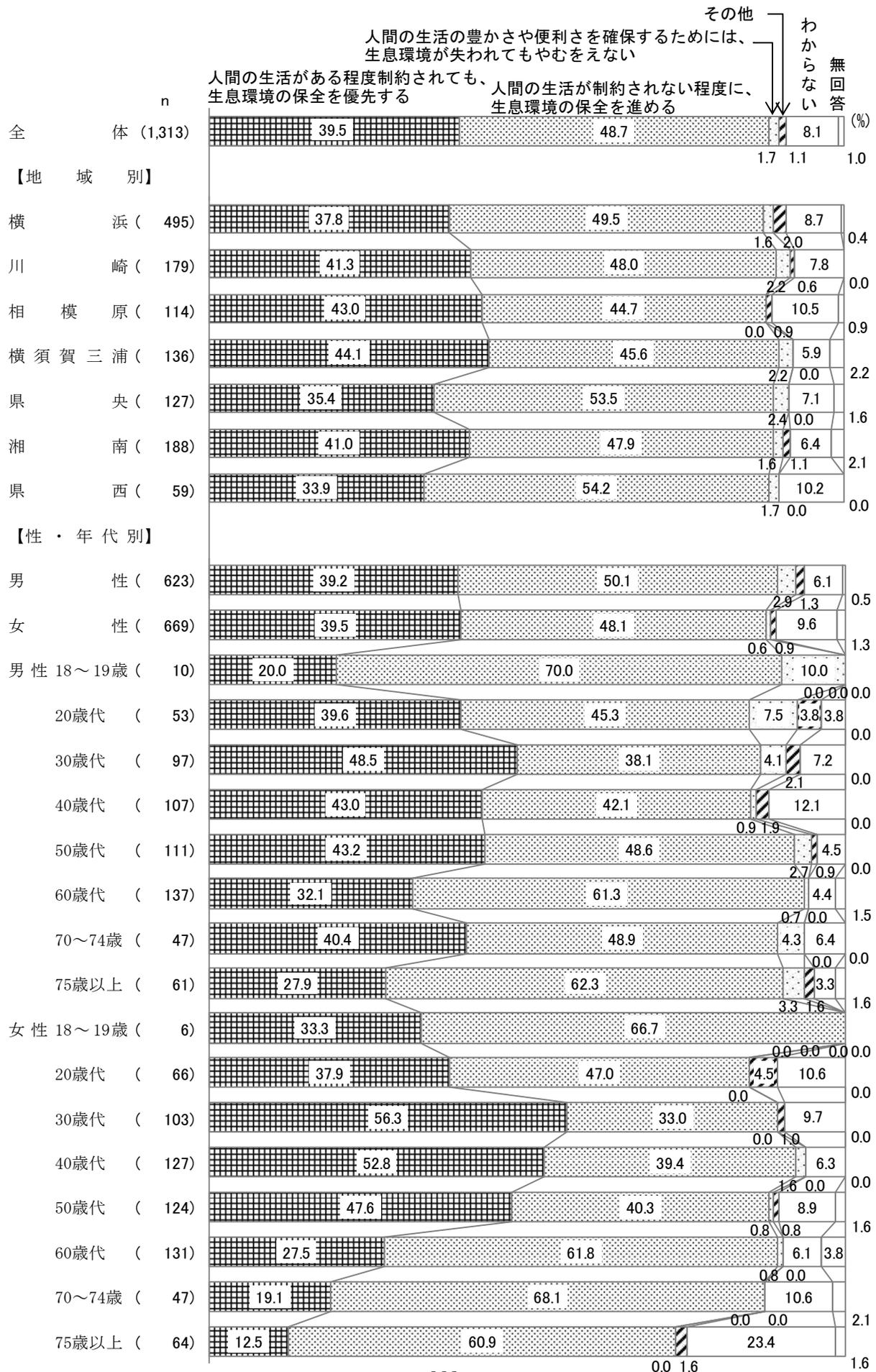
地域別にみると、「人間の生活が制約されない程度に、生息環境の保全を進める」は、県西(54.2%)と県央(53.5%)がともに5割台が多かった。また、「人間の生活がある程度制約されても、生息環境の保全を優先する」は、横須賀三浦(44.1%)と相模原(43.0%)がともに4割台であった。

(図表2-2-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「人間の生活が制約されない程度に、生息環境の保全を進める」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の70~74歳(68.1%)が約7割で最も多かった。「人間の生活がある程度制約されても、生息環境の保全を優先する」は、女性の30歳代(56.3%)・40歳代(52.8%)がともに5割台が多かった。(図表2-2-2)

図表2-2-2 多種多様な生物が生息できる環境の保全への意識—地域別、性・年代別

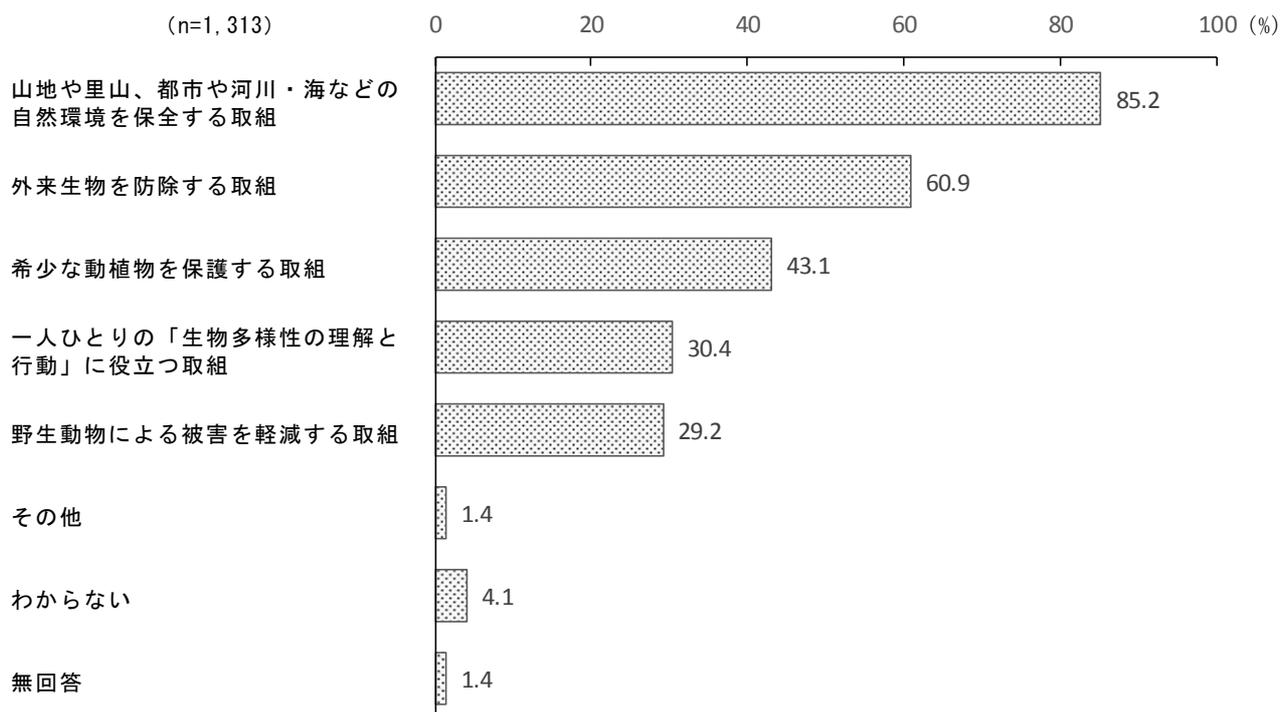


3 神奈川県における生物多様性の保全の取組で重要だと思うもの【問8】

【全体の状況】

神奈川県における生物多様性の保全について、どの取組が重要だと思うかを複数回答（3つまで）で尋ねたところ、「山地や里山、都市や河川・海などの自然環境を保全する取組」（85.2%）が8割台で最も多く、次いで「外来生物を防除する取組」（60.9%）が約6割となった。（図表2-3-1）

図表2-3-1 神奈川県における生物多様性の保全の取組で重要だと思うもの（複数回答）



【地域別の状況】

地域別にみると、「山地や里山、都市や河川・海などの自然環境を保全する取組」は、県西（94.9%）と横須賀三浦（90.4%）がともに9割を超えて多かった。また、「外来生物を防除する取組」は、県西（66.1%）、川崎（64.8%）、相模原（62.3%）、横浜（61.0%）がそれぞれ6割を超えて多かった。

（図表2-3-2）

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「山地や里山、都市や河川・海などの自然環境を保全する取組」は、男性の70～74歳（95.7%）と女性の40歳代（92.1%）がともに9割台で多かった。「外来生物を防除する取組」は、男性の50歳代（73.0%）と女性の70～74歳（70.2%）がともに7割を超えて多かった。

（図表2-3-2）

図表2-3-2 神奈川県における生物多様性の保全の取組で重要だと思うもの（複数回答）

－地域別、性・年代別

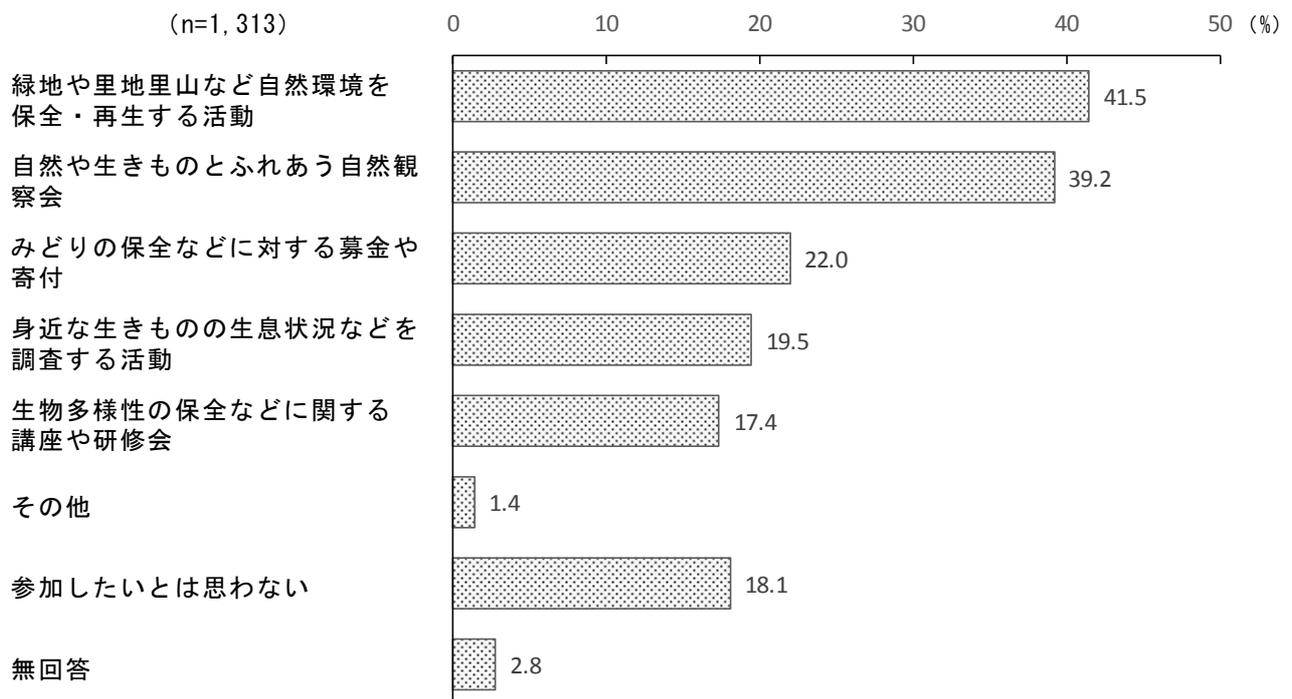
		(%)								
	n	山地や里山、都市や河川・海などの自然環境を保全する取組	外来生物を防除する取組	希少な動植物を保護する取組	一人ひとりの「生物多様性の理解と行動」に役立つ取組	野生動物による被害を軽減する取組	その他	わからない	無回答	
全体	1,313	85.2	60.9	43.1	30.4	29.2	1.4	4.1	1.4	
【地域別】										
横浜	495	85.1	61.0	45.1	27.7	27.9	2.0	4.4	1.2	
川崎	179	84.4	64.8	44.1	30.2	24.0	0.6	6.7	-	
相模原	114	86.0	62.3	54.4	32.5	27.2	-	2.6	0.9	
横須賀三浦	136	90.4	58.1	42.6	26.5	34.6	1.5	2.9	2.9	
県央	127	82.7	57.5	37.8	32.3	34.6	3.1	5.5	-	
湘南	188	83.0	59.0	36.2	37.2	28.7	1.1	2.7	3.2	
県西	59	94.9	66.1	40.7	33.9	39.0	-	-	-	
【性・年代別】										
男性	623	84.9	62.1	43.0	27.0	28.7	2.2	3.2	1.0	
女性	669	85.8	59.8	43.6	33.9	29.3	0.7	4.9	1.8	
男性 18～19歳	10	90.0	60.0	60.0	20.0	30.0	-	-	-	
20歳代	53	77.4	50.9	50.9	18.9	24.5	1.9	7.5	-	
30歳代	97	83.5	55.7	33.0	36.1	23.7	3.1	4.1	1.0	
40歳代	107	80.4	62.6	53.3	26.2	19.6	3.7	3.7	0.9	
50歳代	111	87.4	73.0	54.1	23.4	22.5	2.7	2.7	-	
60歳代	137	87.6	59.1	39.4	28.5	35.0	0.7	2.2	2.2	
70～74歳	47	95.7	63.8	34.0	27.7	36.2	-	2.1	-	
75歳以上	61	82.0	67.2	26.2	24.6	47.5	3.3	1.6	1.6	
女性 18～19歳	6	83.3	50.0	33.3	33.3	16.7	-	-	-	
20歳代	66	86.4	50.0	59.1	37.9	21.2	-	7.6	-	
30歳代	103	89.3	57.3	45.6	42.7	24.3	1.0	4.9	-	
40歳代	127	92.1	63.0	50.4	40.2	18.9	0.8	3.1	-	
50歳代	124	83.1	54.8	49.2	34.7	25.0	0.8	4.8	2.4	
60歳代	131	87.8	63.4	33.6	28.2	38.9	1.5	3.8	3.8	
70～74歳	47	76.6	70.2	31.9	19.1	51.1	-	2.1	6.4	
75歳以上	64	75.0	62.5	31.3	23.4	40.6	-	10.9	1.6	

4 生物多様性を知る、または行動する機会として参加したいと思う取組【問9】

【全体の状況】

生物多様性を知る、または行動する機会として、どの取組に参加したいと思うか複数回答で尋ねたところ、「緑地や里地里山など自然環境を保全・再生する活動」(41.5%)と「自然や生きものとふれあう自然観察会」(39.2%)がともに約4割であった。(図表2-4-1)

図表2-4-1 生物多様性を知る、または行動する機会として参加したいと思う取組（複数回答）



【地域別の状況】

地域別にみると、「緑地や里地里山など自然環境を保全・再生する活動」は、県西(52.5%)が5割台で最も多かった。また、「自然や生きものとふれあう自然観察会」は、相模原(45.6%)、川崎(42.5%)、県央(42.5%)がそれぞれ4割台であった。(図表2-4-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「みどりの保全などに対する募金や寄付」は、女性(27.1%)が男性(16.5%)を10.6ポイント上回った。また、「自然や生きものとふれあう自然観察会」は、女性(42.0%)が男性(36.4%)を5.6ポイント上回った。

性・年代別にみると、「緑地や里地里山など自然環境を保全・再生する活動」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の20歳代(50.9%)が約5割で最も多かった。「自然や生きものとふれあう自然観察会」は、女性の20歳代(50.0%)・30歳代(53.4%)がともに5割以上で多かった。「みどりの保全などに対する募金や寄付」は、女性の70~74歳(44.7%)が4割台で最も多く、次いで女性の60歳代(33.6%)が3割台であった。(図表2-4-2)

図表2-4-2 生物多様性を知る、または行動する機会として参加したいと思う取組（複数回答）

—地域別、性・年代別

(%)

	n	全緑地や再生する活動	自然や生きものとのふれあう自然観察会	寄付の保全などに対する募金や	身近な生きものの生息状況などを調査する活動	生物多様性の保全などに関する講座や研修会	その他	参加したいとは思わない	無回答
全体	1,313	41.5	39.2	22.0	19.5	17.4	1.4	18.1	2.8
【地域別】									
横浜	495	42.6	38.6	22.4	19.2	18.4	1.4	17.4	1.8
川崎	179	39.1	42.5	27.4	15.1	17.3	1.7	21.2	1.1
相模原	114	45.6	45.6	19.3	24.6	21.9	-	15.8	0.9
横須賀三浦	136	41.9	36.0	26.5	18.4	17.6	1.5	16.9	4.4
県央	127	29.9	42.5	16.5	21.3	16.5	0.8	21.3	3.9
湘南	188	42.6	35.1	20.7	18.1	12.8	3.2	18.1	4.8
県西	59	52.5	35.6	10.2	28.8	16.9	-	15.3	3.4
【性・年代別】									
男性	623	42.5	36.4	16.5	20.9	18.3	1.3	20.1	2.4
女性	669	40.7	42.0	27.1	18.4	16.7	1.5	15.8	3.1
男性 18～19歳	10	50.0	20.0	30.0	20.0	-	-	10.0	-
20歳代	53	50.9	39.6	20.8	20.8	9.4	1.9	11.3	1.9
30歳代	97	39.2	41.2	18.6	30.9	19.6	1.0	21.6	-
40歳代	107	38.3	36.4	13.1	17.8	15.9	-	28.0	2.8
50歳代	111	45.0	38.7	10.8	19.8	17.1	1.8	19.8	1.8
60歳代	137	42.3	32.8	13.1	21.2	23.4	2.2	19.7	2.9
70～74歳	47	40.4	40.4	23.4	17.0	21.3	2.1	17.0	2.1
75歳以上	61	44.3	29.5	26.2	14.8	19.7	-	16.4	6.6
女性 18～19歳	6	50.0	16.7	-	50.0	16.7	-	33.3	-
20歳代	66	34.8	50.0	18.2	25.8	7.6	-	22.7	1.5
30歳代	103	39.8	53.4	27.2	28.2	13.6	1.9	13.6	-
40歳代	127	44.1	44.9	26.0	19.7	19.7	1.6	11.0	-
50歳代	124	44.4	41.1	20.2	20.2	25.0	-	16.9	3.2
60歳代	131	42.0	35.9	33.6	12.2	17.6	1.5	13.7	6.9
70～74歳	47	42.6	36.2	44.7	6.4	10.6	2.1	12.8	4.3
75歳以上	64	29.7	29.7	28.1	7.8	12.5	4.7	25.0	7.8